

-(으)ㄴ/는 측에 속하다

～のほうに入る、～な部類だ

集团の中でのおよその位置を示します。2級の -(으)ㄴ/는 편이다 より客観的な言い方です。

■ つけ方

品詞	形	例
動詞	-는 측에 속하다	잘하다 → 잘하는 측에 속해요
形容詞	-(으)ㄴ 측에 속하다	크다 → 큰 측에 속해요
縮約	-(으)ㄴ/는 측이다	큰 측이에요
名詞	인 측에 속하다	부자인 측에
ㄹ 語幹	ㄹ 가落ちる	살다 → 사는 측에
分かち書き	측 は名詞	큰 측에 속하다

■ -(으)ㄴ/는 편이다 とどう違うか

集团内の位置を示します。저는 키가 큰 측에 속해요 (わたしは背が高いほうに入ります)。

편이다 より客観的です。편이다 が「どちらかといえば」という主観的な傾向なのに対し、측에 속하다 は集团の中で分類するということの位置づけ。比較対象がはっきりしている場合に使います。

謙遜にも自慢にもなりません。事実として分類を述べる形なので、中立的に響きます。日本語の「部類に入る」に近い感覚です。

会話では -(으)ㄴ/는 측이다 と縮約されます。

■ 例文

- 1

이 가격이면 싼 측에 속합니다.
この値段なら安いほうに入ります。
- 2

우리 팀에서는 그가 일을 잘하는 측에 든다.
うちのチームでは、彼は仕事ができるほうに入ります。
- 3

서른이면 아직 젊은 측에 속하지요.
三十歳なら、まだ若いほうに入りますよ。
- 4

이 정도 소음이면 조용한 측에 듭니다.
この程度の騒音なら、静かなほうに入ります。
- 5

직접 만드는 곳은 이제 드문 측에 속한다.
手作りするところは、今では珍しいほうに入ります。
- 6

경력으로 보면 오래된 측에 속하는 편이에요.
経歴から見ると、古いほうに入るほうです。

■ 紛らわしいもの

-(으)ㄴ/는 편이다
主観的な傾向を述べます。측에 속하다 は集团内の位置づけです。
큰 편이에요. (どちらかといえば) / 큰 측에 속해요. (分類すると)

-(으)ㄴ/는 측이다
측에 속하다 の縮約形です。会話ではこちらが自然です。
큰 측이에요.

-에 속하다
「に属する」で単純な所属です。측 가入ると程度の分類になります。
1반에 속해요. (所属) / 큰 측에 속해요. (分類)

■ まちがえやすい点

- ✕ 크는 측에 속하다

○ 큰 측에 속하다
形容詞は -(으)ㄴ 측에 です。
- ✕ 큰측에 속하다

○ 큰 측에 속하다
측 は名詞なので分かち書きします。
- ✕ 살는 측에

○ 사는 측에
ㄹ 語幹は -는 の前で ㄹ 가落ちます。